

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2022年4月11日】第119号



## 顔を覚えて挨拶を

2022年4月7日(木)は農大稲花小の始業式の日。全学年がそろい、新年度・新学期がはじまりました。3年生は担任1人と、学年担任1人が、新任です。また、産休代替の栄養教諭1名、さらに英語の講師2名が、農大稲花小の子どもたちとはじめて会うことになりました。

本校では2019年4月の開校以来、始業式や終業式、修了式は校内テレビ放送で行っています。今回の始業式では、新しい先生方を子どもたちに紹介するため、それぞれの先生のお顔を放映いたしました。子どもたちはすぐに、自分の担任、同じ学年の教員、そして日々教えを受ける専科や英語の教員・講師だけでなく、ほかの学年の教員や、事務職員の顔も覚えてくれることでしょう。学校の安全を守ったり、環境を整備したり、給食を調理してくれたりする警備、清掃、調理の皆さんにも、気持ちよく挨拶のできる子どもになってほしいと思います。

1年生は始業式の日、3時間目にはすぐに英語の授業がありました。英語講師の名前、聞き取れたでしょうか。ちょっと心配そうな顔の子どももいましたが、毎年の経験からは、1~2週間すると新入生の緊張も解け、英語講師の名前も覚えて英語で歌ったり踊ったりできるようになりますので、ご心配なく。

## 健康観察と検温

新型コロナウイルス感染防止の毎日です。保護者には登校前の健康観察と検温を、子どもにもおこなうことをお願いしています。しかし、始業式の日には、検温を忘れて登校した子どもたちが少なからずおり、残念なことでした。

保護者の皆様には今後も、子どもおよび同居しているご家族等の検温を含む健康観察を登校前に実施し、必要であれば医師の指導を受けるなど、登校について慎重に判断していただくようお願いいたします。また、登校後、軽症であっても新型コロナウイルスの感染を疑う所見がある場合には早退の判断とし、すみやかな子どもの引き取りを保護者に要請することがあります。引き取り要請や、急な学級閉鎖などについて、学校からの連絡を即時受け取れるようにしておくことも大切です。

子どもたちの学びが少しでも安全に、安心して行えるよう、新学期にあたり、ご家庭での対応についても改めてお考えいただければ幸いです。

## 給食も開始

食育に力を入れ、校内で調理した給食を提供している農大稲花小です。新入生も始業式の日か

ら給食を食べ、6時間目まで授業がありました。

給食初日でもある4月6日(木)の献立は、①ポークカレーライス(玄米入りごはん)、②春キャベツのコールスローサラダ、④フルーツカムカムジュレ和え、そして⑤牛乳でした。上級生は自分たちで配膳し、黙食の約束も守れています。新入生の配膳や世話は、担任団以外の教員のサポートも得て行いました。はじめての給食、新入生の感想はどうだったでしょうか。なお、カムカムは、ビタミンCを多く含む南米産の熱帯果実で、東京農業大学の卒業生が現地での栽培指導や普及に努めてきました。フルーツを和えたジュレは、東京農業大学の研究により商品開発されたカムカムドリンクを使って作りました。東京農業大学の学生ベンチャー企業である農大市場でも、カムカムの製品が販売されています。

4月8日(金)の献立は、①たけのこごはん、②鱈の西京焼き、③新ごぼうのごまサラダ、④桜うどんのすまし汁、⑤実生柑、そして⑤牛乳でした。ちょっと大人びている献立ですが、子どもたちはしっかりと食べていました。給食を楽しみ、また、給食をとおして、子どもたちがより多くの食材に親しむきっかけになることも期待しています。毎日の給食の献立や食材については、本校HPに毎月掲載する「給食の献立」もご覧ください。



4月の献立 : <https://www.nodaitoka.ed.jp/news/318/>  
農大市場 : <http://www.ichiba-n.co.jp/>

### 標本も新入生を歓迎

農大稲花小では図書室前に、月替わりで2つの昆虫標本箱が展示されています。これらの標本は、(一財)進化生物学研究所からお借りしているものです。昨年4月からスタートした子どもたちに様々な昆虫標本を見せるという企画で、いつも子どもたちに人気です。

新学期にあたって展示していただいたのは、羽が美しい南米のモルフォチョウ、そして同じく南米のタテハチョウの仲間です。このタテハチョウは羽の裏面に、88や89のようにも見える不思議な模様のあるものです。昆虫が好きな子どもたちの多い本校ですが、本や図鑑だけではなく、本物を見ることでより多くを学ぶことでしょう。

校長 夏秋 啓子